

東京たまエコセメント事業が、 日本計画行政学会 (会長 法政大学黒川和美教授)の 第11回計画賞を受賞しました

この賞は、エコセメント事業が、先導的な影響力を有し、計画行政の新しい道を切り拓くことに多大な貢献をしたとして、授与されたものです。循環組合としては、この受賞を励みとし、エコセメント事業を通じ、多摩地域における循環型社会の形成に寄与していきます。

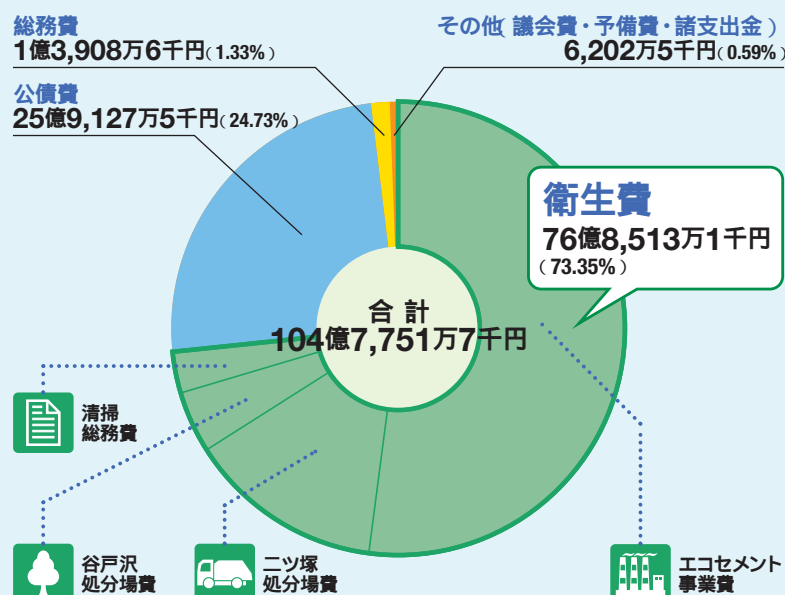


2月23日に受賞式が行われました。

平成19年度予算の報告

平成19年度の予算は104億7,751万7千円で、前年に比べ4億5,550万円の増額となりました。この予算により、エコセメント事業の推進、二ツ塚・谷戸沢処分場の適切な維持管理を図っていきます。

合計	104億7,751万7千円
歳入	
分担金及び負担金	93億3,000万円(89.05%)
諸収入	7億4,483万4千円(7.11%)
繰入金	2億4,444万1千円(2.33%)
繰越金	1億5,000万円(1.43%)
財産収入	824万2千円(0.08%)
歳出	
エコセメント事業の推進、二ツ塚・谷戸沢処分場の万全な維持管理を行うための費用を計上しています。歳出の70%以上を占める衛生費については内訳も紹介します。	



- エコセメント事業費** 54億2,337万6千円 (約71%)
エコセメント事業費は、エコセメント化施設の運営に關する経費です。
- 二ツ塚処分場費** 14億9,137万4千円 (約19%)
二ツ塚処分場費は、埋立処理を行っている二ツ塚処分場の運営管理に關する経費です。
- 谷戸沢処分場費** 4億6,899万2千円 (約6%)
谷戸沢処分場費は、埋立処理が終了した谷戸沢処分場の維持管理に關する経費です。
- 清掃総務費** 3億 138万9千円 (約4%)
清掃総務費は、組合の事業に關する管理的経費です。

循環組合の動き

- 2月 1日(木)～8日(木) 二ツ塚処分場敷地内大気中ダイオキシン類調査実施
- 2月 2日(金) 平成19年第1回正副管理者会議
- 2月 15日(木) 平成19年第1回理事会
- 2月 22日(木) 平成19年第1回議会定例会
- 3月 23日(金) 第22自治会二ツ塚処分場対策委員会
- 3月 26日(月) 第3自治会谷戸沢処分場監視委員会

【二ツ塚処分場対策委員会・谷戸沢処分場監視委員会】
地元自治会のみなさんによる組織。処分場の埋立作業や環境調査等に立ち会っていたほか、調査結果や安全対策等について、継続的に意見交換を実施しています。

組合議会の報告

組合の議員は、多摩地域25市1町の議会議員の中から選出されています。平成19年第1回組合議会定例会が2月22日に開かれ、以下の案件について審議しました。

番号	件名	議決年月日	議決結果
議案第1号	東京たま広域資源循環組合組織条例の一部を改正する条例	平成19年2月22日	可決
議案第2号	東京たま広域資源循環組合管理者等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	平成19年2月22日	可決
議案第3号	東京たま広域資源循環組合職員給与に関する条例の一部を改正する条例	平成19年2月22日	可決
議案第4号	平成19年度東京たま広域資源循環組合負担金について	平成19年2月22日	可決
議案第5号	平成19年度東京たま広域資源循環組合一般会計予算	平成19年2月22日	可決

環境クイズ

クイズに答えてエコグッズをもらおう!
正解者30名様にプレゼント

正解者の中から抽選で30名様に、エコバッグやボールペンなど全6点のエコグッズをセットにしてプレゼント。ふるってご応募ください。

Q 可燃ごみ焼却灰を原料としてつくられる、新しいタイプのセメントは何?

A ○○○○○○

応募方法 / 官製はがきまたは電子メールで、下記の発行・問い合わせ先住所、または以下のメールアドレスまでご応募ください。当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。
記入事項 / クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号、たまエコニュースを読んでのご意見・ご感想を明記してください。
締め切り / 平成19年4月10日(火)必着 応募先メールアドレス / quiz@tama-junkankumiai.com

ホームページをご覧ください
<http://www.tama-junkankumiai.com>

循環組合では、処分場の敷地内や周辺の土壌、水質など環境調査の結果をホームページで公表しています。ぜひアクセスしてみてください。

発行・問い合わせ先
TEL: 042-385-5947 FAX: 042-384-8449
「たまエコニュース」の内容やごみ処理に関するお考えなど、みなさまのご意見を、お手紙、FAX、電子メールでお聞かせください。
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内
東京たま広域資源循環組合「たまエコニュース」係
【メールアドレス】 sjkumiai@tama-junkankumiai.com

多摩400万人のごみ情報紙 年4回発行:平成19年3月発行 VOL.41 Mar.2007
2006年7月から「処分組合ニュース」が「たまエコニュース」になりました。

たまエコニュース

発行:東京たま広域資源循環組合
[事務局] 〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内 TEL:042-385-5947 FAX:042-384-8449
ホームページ <http://www.tama-junkankumiai.com> メールアドレス sjkumiai@tama-junkankumiai.com

循環組合組織団体

八王子市	昭島市	東村山市	清瀬市	西東京市
立川市	調布市	国分寺市	東久留米市	瑞穂町
武蔵野市	町田市	国立市	武蔵村山市	
三鷹市	小金井市	福生市	多摩市	
青梅市	小平市	狛江市	稲城市	
府中市	日野市	東大和市	羽村市	

循環組合は組織団体からの負担金で運営されています

「循環組合」とは...?
二ツ塚処分場・谷戸沢処分場(日の出町)を管理・運営している特別地方公共団体で、日の出町の皆さまの協力を得ながら、多摩地域25市1町の約400万人の可燃ごみの焼却灰をエコセメントとしてリサイクルし、資源として活用。また、不燃ごみの埋立をしています。皆さまと共にごみ問題の解決に取り組んでいます。

主な記事
【1面】 私たちの街にエコセメント製品が登場!!
【2・3面】 事業の環境・安全対策に関する皆さんの疑問にお答えします
【4面】 エコセメント通信、平成19年度予算の報告、循環組合の動き、組合議会の報告、環境クイズ など

私たちの街にエコセメント製品が登場!!

昨年7月から二ツ塚処分場内の「東京たまエコセメント化施設」が本格稼働を開始。現在、エコセメントの製造・出荷が順調に進められており、また、私たちの街でもさまざまなエコセメント製品が使用され始めました。

多摩地域のリサイクルがさらに進みます

循環組合では、全国の自治体として初の試みとなる「エコセメント事業」に取り組んでいます。

エコセメントとは、可燃ごみの焼却灰を主な原料として製造される新しいタイプの土木・建築資材用セメントです。これまで埋め立てていた可燃ごみ焼却灰が、エコセメントとして道路や建物に再利用されていくことで、環境先進地域・多摩のリサイクルをさらに進めることができます。

昨年7月に「東京たまエコセメント化施設」の本格的な稼働がスタートしました。施設では安全に万全の配慮をしてエコセメントの製造に取り組んでおり、現在、毎月平均約7,000トンの焼却灰を処理して約10,000トンのエコセメントを出荷しています。

エコセメントは私たちの街で活躍し始めました

また、多摩地域では「東京たまエコセメント化施設」で生産されたエコセメントがさまざまな形で利用され始めています。青梅市の道路の側溝整備や八王子市の公園の改修工事など、私たちの生活の中でエコセメントは活躍し始めました。「エコセメントは物質循環を実現する画期的なセメント。今後、市民のみなさまの目に触れる機会も増えると思いますから、その際にごみ問題や環境問題について考えていただくきっかけになるよう、今後はPRを含めてエコセメントの利用を推進していきたい」と青梅市役所の担当者は言います。

エコセメント事業の推進により、全国に先がけた循環型社会づくりのモデルケースとなる新しい動きが、ここ多摩地域から進んでいます。



青梅市では、雨水対策としてV形・U形側溝、集水升のエコセメント製品を利用して道路工事が行われました。

52,000トンものごみ焼却灰を埋め立てずにリサイクルしました

「東京たまエコセメント化施設」が平成18年7月に本格稼働するまで、日の出町にある二ツ塚処分場では、多摩地域25市1町で出された可燃ごみの焼却灰と不燃ごみが埋め立てられていました。稼働後の平成18年7月から平成19年1月現在まで、約52,000ト

ンの可燃ごみ焼却灰がエコセメントにリサイクルされました。これは10トトラックで約5,200台に相当する量です。エコセメント事業により、これだけの量の焼却灰を埋め立てずにリサイクルすることができ、二ツ塚処分場の使用期間を大幅に延ばすことができます。



5,200台分!!

不燃ごみが処理される二ツ塚処分場。奥はエコセメント化施設。

「処分場の管理・運営、エコセメント事業は安全なの？」 事業の環境・安全対策に関する皆さんの疑問にお答えします



多摩地域400万人の生活を支える 循環組合の取り組み

エコセメント事業の推進、処分場の管理・運営、自然回復の調査・維持管理を行っています

循環組合では、日の出町の皆様のご協力のもと、多摩地域25市1町から出されるごみをリサイクルするエコセメント事業や、埋立する事業に取り組んでいます。また、埋立が終了した処分場についても、周辺の環境が守られるように、適切な維持管理を行っています。

エコセメント事業 可燃ごみの焼却灰をエコセメントの主原料として再利用しています。平成18年7月から施設の本格稼働がスタートしました。

二ツ塚処分場 平成10年1月から多摩地域のごみの埋立が行われている最終処分場です。現在は、不燃ごみのみの埋立を行っています。

谷戸沢処分場 平成10年まで多摩地域のごみの最終処分場として使用。埋立終了後も、自然回復を目的とした維持管理を行っています。



エコセメントから つくられる 製品は安全なの？

A エコセメントはJIS規格に定められ、安全性が確認された土木建築資材です

エコセメントは、その開発段階からエコセメント製品の溶出試験が繰り返し行われました。また、廃棄物学会においても酸性雨の影響を考慮した試験が実施されるなど、安全性に対する確認が念入りに行われてきました。そして、平成14年7月、日本工業規格(JIS規格)に定められ、公的にも安全性が確認された土木建築資材なのです。

エコセメントはJIS規格で普通のセメントと同等の品質を持つことが実証されていますので、道路整備や建築資材、コンクリート製品など、私たちの生活の中で幅広い用途に利用され始めています。



U形側溝(写真手前)として使用されているエコセメント(八王子市)

エコセメントの製造工程で、 焼却灰が飛散することはないの？

A 製造工程のすべての作業を建物内等で行うため、焼却灰が施設外に漏れることはありません



焼却灰の受け入れは、密閉された受入ピット内で行われています。

可燃ごみの焼却灰はトラックでエコセメント化施設内の受入ピットまで運ばれます。焼却灰の受け入れは密閉された建物内で行い、粉じんの飛散を防止します。また、それ以降の製造工程もすべて建物内や密閉された設備内で行われるので、焼却灰が施設外に漏れる心配はありません。

さらに、受入ピットの空気は吸引され、集塵防臭処置を施すため、施設外に悪臭などが漏れることもありません。製造工程で発生する排ガス内の重金属類を含んだ飛灰も、ろ過式の集じん機(バグフィルタ)で集められ、重金属回収設備で処理・回収し、排ガスをきれいにして煙突から排出しています。



処分場は周辺環境に 影響を及ぼしていないの？

A 安全管理を徹底し、定期的な環境調査でも周辺環境への影響がないことが確認されています

循環組合では安全管理と環境保全を重視した事業運営に取り組んでいます。また、定期的に環境調査を実施し、処分場による環境への影響の確認を行っています。

環境調査では、処分場敷地内の土壌や水質、大気中などのダイオキシン類、重金属類などについて検査を行っています。これら環境調査は処分場のある地元・日の出町の方々の立ち会いのもとに実施されていますが、これまでの処分場の地下水等の水質検査やダイオキシン類の調査では、環境基準を大きく下回る数値となっており、処分場による環境への影響がないことが確認されています。



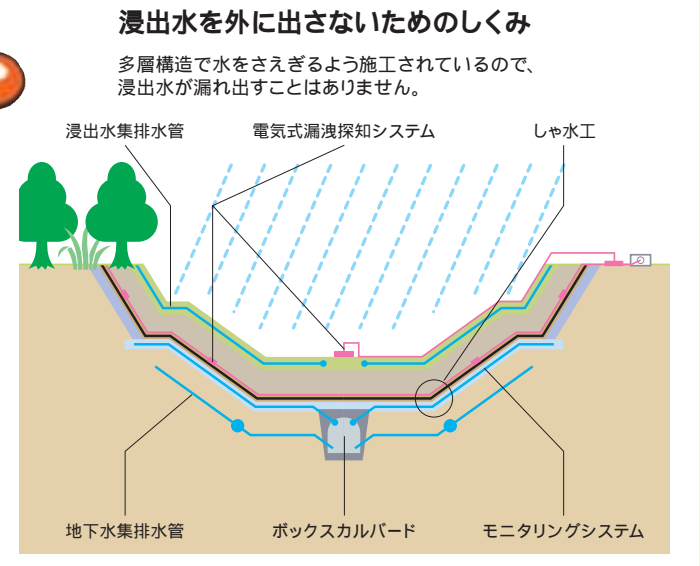
環境モニタリング調査の様子。

処分場から汚れた水が 漏れ出す心配はないの？

A 浸出水*による環境への影響が出ないよう、国内最高水準のシステムを導入しています。

二ツ塚処分場には浸出水集排水管が備わっており、浸出水はすみやかに集められ浸出水処理施設に送られます。浸出水はそこで微生物などによる処理を行った後、きれいな水として公共下水道へ放流されるのです。また、処分場の底は多層構造で水をささざるよう施工されているので(しゃ水工)浸出水が漏れ出すことはありません。万が一の漏水を管理するためにモニタリングシステムも導入しています。このように浸出水を「貯めない」「漏らさない」「見逃さない」ために国内最高水準の設備を設置することで、定期的な地下水等の水質検査でも基準値を大きく下回る数値を記録しており、安全性が確認されています。

*浸出水…処分場に降った雨水がごみの中を通って出てくる水のこと。



浸出水を外に出さないためのしくみ
多層構造で水をささざるよう施工されているので、浸出水が漏れ出すことはありません。

浸出水集排水管 電気式漏洩探知システム しゃ水工
地下水集排水管 ボックスカルバード モニタリングシステム

可燃ごみの焼却灰に含まれる ダイオキシン類などは 安全に処理されているの？

A 1350℃以上の高温で焼成することで、分解、無害化します

エコセメントの製造工程では、焼却灰と石灰石等を混ぜ合わせたものを円筒形の焼成炉(ロータリーキルン)で1350以上の高温で焼成します。焼成炉で高温処理することで焼却灰に含まれるダイオキシン類は分解、無害化されるのです。さらに、その際に発生する排ガスは排ガス処理棟で急速に200以下に冷却してダイオキシン類の再合成を防止し、ろ過式の集じん機(バグフィルタ)などを通して適切に処理しています。

また、焼却灰には鉄・アルミニウム類が混入していますが、前処理で選別、回収を行い、エコセメントの原料に適した状態にした後、焼成が行われています。



円筒形のロータリーキルン(左)と排ガス処理棟(中央)、重金属回収設備(右)



循環組合の環境保全に関する取り組みについて、ホームページでも詳しく紹介しています。環境データも掲載していますので、ぜひご覧ください。

<http://www.tama-junkankumiai.com>

埋立が終わった処分場は、 いま、どうなっているの？

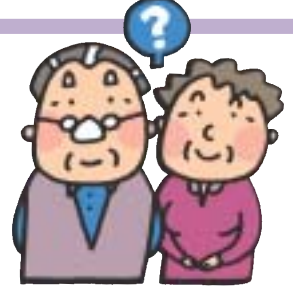
A 広大な草原と水辺に生まれ変わり、順調に自然が回復しています



自然回復が進む谷戸沢処分場。

谷戸沢処分場では、昭和59年から14年間にわたり、多摩地域から出るごみの埋立が行われました。埋立終了後も、自然の回復を推進するため、循環組合では継続して適切な維持管理に取り組んでいます。

現在、埋立跡地は22ヘクタールの広大な草原などになっています。その中に清流復活事業として貯水池を設けたことで、四季を通じて多彩な草木が生い茂り、水辺を好む鳥類やトンボ類が増えました。これまで約1300種の昆虫類、約100種の鳥類が確認されており、順調に自然の回復が進んでいます。



子ども広場 私たちが捨てたごみは どこへ行くの？

みんなが住んでいる多摩地域のごみは、「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「資源ごみ」「有害ごみ」に分けて回収されます。燃やせるごみは清掃工場で燃やされ、燃やせないごみは細かく砕かれた後、日の出町にある最終処分場に運ばれます。燃やされたごみの灰はセメントの原料として再利用され、細かく砕かれたごみは埋め立てられますが、そこでは環境を守るためにさまざまな取り組みが行われています。機会があれば、処分場の見学会に参加して自分たちのごみがどのように再利用、処理されているのか調べてみましょう。



日の出だより NO.33

「ひので肝要の里」に来てみませんか

「ひので肝要の里」は、1階の直売所で地元農産物を原料にした特産品を販売、2階の食体験コーナーでは手打ちそば、季節御飯などの食事やティータイムを楽しめます。また土・日曜日に「そば打ち体験 全開(要電話予約)」この季節のおすすめは、皮をハイビスカスの花で淡いピンク色に色づけし、地元産の桜の花の塩漬をあしらった「桜まんじゅう」。そして地元産の大根を酢・赤梅酢・砂糖で漬けた「大根の桜漬け」。どちらも4月末までの期間限定販売です(手作りのため数に限りがありますので売り切れの際はご容赦ください) みなさんのご来店をお待ちしています。



ひので肝要の里
TEL.042-597-5290
日の出町大字大久野4089
営業/10時30分~18時
(一部コーナーは16時30分終了)
休館日/火曜日(祝日の場合は翌日)
交通/JR武蔵五日市駅より、つるつる温泉行きバスで約15分、肝要下車
ホームページ <http://www.gws.ne.jp/home/kanyou>

